

背伸びをせず、
今の時代に則した活動！！



カワダ *kawada community vision* plan period 2023~2028 コミュニティビジョン



輝けるまち
みんなでつくろう
未来のカワダ

ふれあいカワダ会
令和5年11月

輝けるまち みんなでつくろう 未来のカワダ

人口の急減をはじめ社会情勢は大きく変化し、地域の暮らしをめぐる問題も多様化・複雑化しています。

「地域課題」を地域住民で話し合い解決の道を探るため、令和3年度から **地域づくり** が始まりました。

「カワダ」では地域での話し合い（「大座談会」や **明日のカワダを考える集い**）の他、新しい組織への継承、各行事の見直し、卓球教室などが実施されています。

地域住民の声を「キーワード」とした **カワダビジョン** と「**具体的活動目標**」を掲げ、

住民による持続可能な地域活動と時代に則した地域コミュニティの構築を目指し、地域づくりを推進します。

心のふるさと子持山

具体的活動目標

- ① ふれあいカワダ会を中心とし※「身の丈にあった活動」の推進。
- ② カワダの「活力」・「未来」は子供達、地域をあげて応援しよう。
- ③ 良いところ再発見！誇れるまちカワダ。

※「身の丈にあった活動」

できることには個人差もあり、無理した活動の継続は困難。当たり前を再確認し、できることをできる範囲とする＝ボランティア活動を表現。

未来を育む川小

知ってほしい！

「地域課題」&「キーワード」&「カワダ」

地域課題

「大座談会」で明確にされた川田地区の課題。参加した住民の意見を分析し、専門家の先生に示していただいたものです。

- ①話し合い・コミュニケーション
意見が言える地域、話し合う機会・場、楽しくおしゃべり
- ②川田の宝・魅力・資源
自然、美味しい食材、歴史、カワダを知ろう
- ③交流・つながり
世代間交流、取組みを知る・共有する、誰でも集まれる場、他地域との交流

みんなで楽しむ卓球教室

★ キーワード ★

～「大座談会」で見られたカワダらしい言葉～

- ◎背伸びをせず、身の丈にあった活動
- ◎今の時代に則した考え・活動
- ◎「ちょうどよい」考え・距離

「川田地区振興協議会」から「ふれあいカワダ会」に地域組織が継承されたことを「今の時代」と捉え、カタカナ表記での「カワダ」とし、文字色は、変革の象徴となるイベントとなった小学校との合同運動会において、学校との融和を最優先し、約半世紀に亘って地域が慣れ親しんだ団編成を5団から3団に再編、それぞれ3団のイメージカラーである緑・赤・白に準じて表記し、更に「今の時代」を強調しました。慣れ親しんだ紫・黄色も活用しています！